

授業等で活用できる学習例集

「ともに生きる社会を学ぼう」（対象：小学校中学年～中学生）

ねらい

街のイラストの中から、みんなが便利に安全で安心してくらすできるように考えられている工夫を見つけるを通して、いろいろな人にとって住みやすい街やともに生きる社会について考えるきっかけとする。

学習指導要領との関連（例）

- 小学校3～6年 道徳B・C
- 中学校 道徳B・C

進め方

流れ	内容
導入 (5分)	・イラストを見てみよう。街には、どんなものがあるだろう。
展開 (30分)	【ワーク1】 ・みんなが便利に安全で安心してくらすように考えられている工夫を見つけて、話し合いをしましょう。 【ワーク2】 ・わたしたちができることを考えよう。 【ワーク3】 ・他に、駅や乗り物等の場面についても考えよう。
まとめ (10分)	・気付いたことや考えたことを書きましょう。

留意点

- ・いろいろな人の立場で考え、気づきを促すようにする。
- ・発達段階や学級の実態に応じて、内容を変更して扱う。

特別支援学校での取組方法

- ・困っていること、もっとこうなったらよいと思うことについて、具体的に話し合う。
- ・ウェブサイトを活用し、他に写真等を用意することで経験と結びつけて学ぶ。

■バリアフリーとは

物理的な障壁のみならず、社会的、制度的、心理的なすべての障壁に対処するという考え方

■ユニバーサルデザインとは

施設製品等について、誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方

ワークシート 「ともに生きる社会を学ぼう」 まちでさがしてみよう

- 1 まちは、みんなが暮らすためのいろいろなものでつくられています。みんなが便利に安全で安心して暮らせるように考えられている工夫を見つけましょう。



(バリアフリー学習プログラム「学んでみよう！みんなが住みやすい街や駅」、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から転載)

- 2 わたしたちができることを考えましょう。

- 3 他に、駅や乗り物などの場面についても考えましょう。

- 4 気付いたことや考えたことを書きましょう。

本学習例は、バリアフリー学習プログラム「学んでみよう！みんなが住みやすい街や駅」(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)の教材を参考にしています。右の二次元コードから同教材にアクセスして、さらに幅広い学習を深めることができます。

